

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年12月現在、病院ボランティア白鶴の活動を一時休止しております。今回は、束の間の再開、9月から11月の主な活動をご報告します。

ボランティアさんには新しい生活様式での注意事項をご確認のうえ、内容項目のチェックにご協力をいただくななど、感染予防に十分配慮して活動を再開しました。

白鶴メンバーが大切にしている「新たな出会いや人と人との心のふれ合い」自体がリスクになるという事を踏まえ、これまでの活動を振り返り、今後の活動のあり方について考える機会になりました。

再開にあたっては、患者さんより「ホッとする」「安心する」等のご感想をいただき、活動へのやりがいを改めて感じられたのではないでしょうか。

今後もボランティアさんが地域との架け橋となり、繋がりや絆を深めながら、共生・共創できる癒しの活動を目指してまいります。



### カウンセリング

中庭が見えるスペースに、外来患者さんやご家族のための無料カウンセリングルームを開設しました。毎週水曜日13時から心理・教育カウンセラー資格を持つボランティアさんが待機しています。ぜひ、ご利用下さい（現在、休止中）。

### 癒しのコンサート

10月30日金曜日、中庭で3密を避けての秋のコンサートを開催しました。30分間の短い時間でしたが、音楽療法士の越智慶子さんと、ボランティアさんのお一人が所属するウクレレハーモニー隊をお招きし、患者さんやご家族、職員も、中庭から流れるハープの音色やウクレレ演奏に心から癒やされ、楽しいひと時を過ごしました。

当院初の試みでしたが、山本理事長、柚木院長をはじめとした実行委員と協力し、大成功に終わりました。



### 環境美化

「季節を感じる花を植えてはどうか」との提案で、緑木の一角に四季折々にさりげなく咲く花を植えました。中庭のテーブルには、眺めて癒やされる多肉植物の鉢植えを作製しました。



越智さん(左から2人目)と  
ウクレレハーモニー隊の皆さん

## 音楽療法士 越智慶子さん インタビュー (秋のコンサート 外部講師)

### —音楽療法士とは

民間の資格です。いくつか団体があり、私はその中でも代表的な「日本音楽療法学会認定音楽療法士」です。愛媛県では20人程です。

### —音楽療法とは

一言でいうと「心・脳・身体のリハビリを行うために、音楽自身が持つ様々な効果を有効的に活用すること」です。

### —活動の場や対象は

高齢者施設、病院、発達障害児童支援、子育て支援、学校での同和教育などです。

### —高齢者への効果は

歌いながら手足を動かす同時行動により、表情、呼吸、発語など、体の活性化を目指します。手足が動きにくい方は楽器を持つことで残存機能が引き出され、お箸やコップを持つきっかけになります。また、回想によって曲と人生が結びつくことがあります。会話促進につながります。認知症予防、コミュニケーションの場所作りなど、効果は様々です。

定期的な会であれば「次回も参加する」という目標ができ、生きることへの張り合いになります。



### ♪秋のコンサート セッション♪

活動	曲名	活動の目的
鑑賞 月歌	ハープコンサート 秋メドレー	季節見当識 リラクゼーション 右脳刺激 回想
歌唱 体操	①ふるさと 歌唱→健康表現体操 ②ゆうやけこやけ 歌唱→健康表現体操	回想 発声促進 呼吸器活性化 身体活性化 統合機能促進
脳刺激 体操	③紅葉 歌唱と手の運動 ④証城寺のたぬき囃子 グーパー運動 ⑤旅愁 足の体操	脳刺激 脳コーディネート 手・上腕運動 統合機能促進 下肢運動 呼吸器促進
楽器	⑥虫の声 楽器合奏	運動促進 一体感 責任感 達成感 発散

### —発達障害支援というのは

音楽や楽器に合わせることで、集中力や人に合わせるといった、社会性を身に着けます。

### —医療機関との関わりは

診療報酬の対象とならないため、イベントとして関わることが多いです。楽しむ

だけではなく、治療行為の目的と医師の要望に合わせて、セッション内容と曲を選びます。

### —最後に一言

音楽を用いて楽しくリハビリができ、皆さんとても喜んでくださいます。一ヶ所でも多く、音楽療法を取り入れていただける施設が増えると良いです。

皆さん、自分に寄り添ってくれる音楽や好きな曲を大事にしてください。音楽を生活の中に上手く取り入れて豊かな人生になるよう、お役に立てると嬉しいです。

——(聞き手より) 越智さん、ありがとうございました。

活動の場や対象が、非常に幅広いことに驚きました。ほんの一歩しか紹介できず残念です。音楽療法は、どこでも誰でも気軽に活用できるものだと感じました。(聞き手 総務課 松長聰美)

患者さんと参加した当院職員の感想  
病室では体感できない風や光、季節感、人が集う場での緊張感があり、患者さんにとって良い刺激になりました。